

再臨

知っておきたいキリスト教のことば (79)

聖餐式で唱える二ケヤ信経の中にこのような文言があります。「また、生きている人と死んだ人とを審くため、栄光のうちに再び来られます」。

イエス様が再び来られるという「再臨信仰」は、新約聖書全体に見られます。イエス様は十字架上で息を引き取られお墓に葬られますが、三日目に死から復活し天に昇られました。そして救いを完成させるために、再びこの世に来られるというのが再臨です。

特に新約聖書に多くの手紙が残されている使徒パウロは、その宣教においてイエス様の再臨を強調していきました。彼はこのように書いています。



すなわち、合図の号令がかかり、大天使の声が聞こえて、神のラッパが鳴り響くと、主御自身が天から降って来られます。すると、キリストに結ばれて死んだ人たちが、まず最初に復活し、それから、わたしたち生き残っている者が、空中で主と出会うために、彼らと一緒に雲に包まれて引き上げられます。このようにして、わたしたちはいつまでも主と共にいることになります。(テサロニケの信徒への手紙一 4 章 16～17 節)

イエス様が昇天した後、初期のキリスト教は再臨が速やかにあると期待していました。しかしなかなかイエス様は来られないまま、2000 年の時が経っています。キリスト教の教派やカルトと呼ばれる団体の中には、この「再臨」を過度に強調し、恐怖心を煽る人たちもいます。しかし大事なことは、わたしたちが神さまのみ心を求めながら、毎日の信仰生活を送ることです。すべては神さまが良い方向へ導いてくださるのです。

そして祈りましょう。「マラナ・タ！（主よ、来てください）」。

次回は「サクラメント」です。お楽しみに。